

	前回(2021年10月判断)	2022年1月判断	前回との比較*
北海道	新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあり、横ばい圏内の動きとなっている	新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあるが、 <u>持ち直しの動きがみられている</u>	↗
東北	新型コロナウイルス感染症の影響などから、持ち直しの動きが一服している	新型コロナウイルス感染症の <u>新規感染者数が落ち着く中</u> 、一部に <u>持ち直しの動きがみられている</u>	↗
北陸	一部に下押し圧力が続いているが、総じてみると持ち直している	持ち直している	↗
関東甲信越	サービス消費を中心に引き続き厳しい状態にあるが、基調としては持ち直している	サービス消費を中心に <u>感染症の影響が幾分和らぐも</u> とで、持ち直している	↗
東海	持ち直しの動きが一服している	持ち直している	↗
近畿	全体としては持ち直しているが、 <u>新型コロナウイルス感染症の影響により、消費への下押し圧力が強い状態にある</u>	<u>消費への新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐも</u> とで、全体として持ち直している	↗
中国	持ち直しの動きが一服している	持ち直しの動きが <u>みられている</u>	↗
四国	新型コロナウイルス感染症の影響から、持ち直しのペースが鈍化している	新型コロナウイルス感染症の影響が <u>和らぐも</u> とで、 <u>緩やかに持ち直している</u>	↗
九州・沖縄	持ち直しのペースが鈍化している	新型コロナウイルス感染症の影響から <u>引き続き厳しい状態にあるが、持ち直している</u>	↗

*前回との比較の↗、↘は、前回判断に比較して景気の改善度合いまたは悪化度合いの変化を示し、前回に比較し景気の改善・悪化度合いが変化しなかった場合は、⇒となる。

[日本銀行 地域経済報告](#)